

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立西南老人デイサービスセンター
指定管理者名	特定非営利活動法人あそびりクラブ
開催日	令和元年（2019年）12月17日（火）
開催場所	豊能広域こども急病センター 3階大会議室
合議の出席者	箕面市東部地域包括支援センター管理者 石丸 伸司氏 箕面認知症家族会「びわの会」理事 木戸 洋子氏 箕面市居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所連絡会会長 岡本 有子氏

【概要】別添のとおり

内容

令和元年12月17日(火)に豊能広域こども急病センター3階大会議室にて、指定管理者の評価に係る合議を実施しました。主な内容は下記のとおりです。

1) 日中の活動について

指定管理者より、平成29年度に引き続き右脳ゲームや外出などによる認知症予防や悪化防止に取り組み、また機能訓練や日常生活を通じ、残存機能の維持・向上の取組を実施しているほか、家で入浴できないかたのための入浴サービスなどを行っているとの報告がありました。

合議メンバーからは、要介護度が重度なかたも受け入れているが、入浴介助などはどのようにしているのかとの質問があり、指定管理者からは要介護度がどれだけ重度なかたも断ることはなく来ていただいております、入浴介助は2人か3人介助で実施しているとの回答がありました。

そのほか、合議メンバーから、アンケートに外出が足りないという回答があったが、外出イベントがたくさんあって、現実的にこれ以上増やせないのではないかとの質問があり、指定管理者からも外出プログラムは充実しており、これ以上は難しいと思われているとの回答がありました。

2) 時間外利用について

指定管理者から、家族の希望により延長サービスを自費サービスとして実施しているとの報告がありました。

合議メンバーからは、延長時間や送迎及び食事について質問があり、指定管理者から、午後7時頃まで延長していることや送迎も行っていることについて回答がありました。また夕食については、職員と一緒にお店に買いに行くこともあり、利用者ご自身で買う物を選択できることをとても楽しみにしているとの回答がありました。

3) 地域交流事業について

指定管理者から、地域との交流を大切にしており、例年通り5月に「バザー&みんなであ・そ・ぼ!」を開催、小学生や中学生をはじめ200人ぐらいの参加があり、地域の恒例イベントとして認識されているとの報告がありました。

4) 総評

利用者やその家族の個別ニーズに応じた取組、また地域に開かれたデイサービスとして特色のある取組も多く、今後も継続的に実施していくべき事業内容であることを確認しました。

アンケートの結果及び合議で出た意見からも、総じて指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価します。